

所属	人間社会学部・人間形成学科	職名	講師	氏名	吉岡 和子
----	---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

2004年に九州大学大学院人間環境学府博士後期課程を満期退学。臨床心理士として、病院、保健福祉センター、学生相談室などに勤務後、2006年10月に本学に着任。2007年に博士号（人間環境学）取得。

- ①対人関係における自己表出の在り方に関する研究
- ②アサーショントレーニング・プログラムの実践研究
- ③心理アセスメントを用いた強迫性障害理解のための研究

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書>

吉岡和子・高橋紀子編「大学生の友人関係論－友だちづくりのヒント」（2010）ナカニシヤ出版。

<論文>

- ・吉岡和子「ヒューマン・コミュニケーション授業の効果研究（1）」（2009）『福岡県立大学人間社会学部紀要』第18巻2号，福岡県立大学。
- ・菊浦友美・吉岡和子「青年期の対人関係における攻撃性の表出とアサーション及び自己評価との関連」（2009）『福岡県立大学人間社会学部紀要』第18巻2号，福岡県立大学。
- ・富田真弓・吉岡和子・河本 緑「強迫性障害のロールシャッハ反応の治療前後比較－情緒体験の在り方に焦点を当てて」（2008）『ロールシャッハ法研究』第12巻，日本ロールシャッハ学会。
- ・吉岡和子「友人関係での自己表出における葛藤」（2007）『心理臨床学研究』第24巻第6号，日本心理臨床学会。
- ・吉岡和子「友人関係の満足感と自己像及び対他的自己像との関連」（2007）『九州大学心理臨床研究』第26巻，九州大学。
- ・吉岡和子「友人関係における「自己の在り方をめぐる葛藤」に関する研究」（2007）『九州大学心理学研究』，第8巻，九州大学。

②その他最近の業績

<学会報告>

- ・Yoshioka K, Tomita M, Kawamoto M, Nakatani E, Nakao T, Nabeyama M, Nakagawa A, Kanba S 「Memory deficits in obsessive-compulsive disorder (OCD): 『 checkers』 vs. 『 washers』 vs. normal controls」， XXXVIII Annual Congress of the EABCT, Helsinki Finland ， 9.2008.
- ・吉岡和子・田中克江「ヒューマン・コミュニケーション授業の効果研究－QOSL（Quality of Student Life）を中心に－」日本心理臨床学会第27回大会，東京，2008年9月。
- ・Tomita A, Yoshioka K, Kawamoto M, Nakao T, Nakagawa A, Takahashi Y 「Changes in Rorschach responses after treatment in Japanese patients with Obsessive-Compulsive Disorder」， XIXth ISR Congress, Leuven Belgium, 7.2008.
- ・富田真弓・吉岡和子・河本緑「強迫性障害のロールシャッハ反応の治療前後比較－情緒体験の在り方に焦点を当てて－」日本ロールシャッハ学会第11回大会，名古屋，2007年11月。
- ・Mayumi Tomita, Kazuko Yoshioka, Midori Kawamoto, Eriko Nakatani , Tomohiro Nakao, Akiko Nakagawa, Shigenobu Kanba 「Trait of personality and interpersonal relationship

in patients with OCD: changes with treatment」, XXXVII Annual Congress of the EABCT, Barcelona Spain , 7.2007.

③過去の主要業績

- ・吉岡和子「友人関係の理想と現実のズレ及び自己受容から捉えた友人関係の満足感」(2001)『青年心理学研究』13巻, 青年心理学会.

3. 外部研究資金

文部科学省 平成21年度科学研究費補助金(若手研究B)「大学生に対するコミュニケーション教育の効果研究」¥500,000 課題番号: 19730434 (継続 2007-2009年)

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本青年心理学会研究委員会・委員

九州臨床心理学会 日本人間性心理学会 日本青年心理学会 日本心理臨床学会
日本教育心理学会 日本ロールシャッハ学会 日本パーソナリティ心理学会 各会員

6. 担当授業科目

<学部>

パーソナリティ論/人格心理学・2単位・1年・後期, カウンセリング・2単位・4年・前期,
家族心理学・2単位・4年・前期, 教育相談(幼児教育)・2単位・4年・前期, 演習・2単位・
3年後期・4年前期, 卒業論文・6単位・4年・後期

<大学院>

臨床心理基礎実習・2単位・1年・通年, 臨床心理面接特論・2単位・1年・前期, 臨床心理
査定演習・2単位・1年・後期, 臨床心理実習(学内)・1単位・2年・通年, 臨床心理実習
(施設)・1単位・2年・前期

7. 社会貢献活動

- ・NPO法人九州大学こころとそだちの相談室 理事
- ・福岡女学院大学 臨床心理センター 心理査定委託相談員
- ・福岡教育大学 心理査定委託相談員

8. 学外講義・講演

- ・福岡県市町村職員研修所 新規採用職員研修「メンタルヘルス」4月7日、5月12日、10月6日、20日
- ・ひびき高等学校 近未来ガイダンス「自分も相手も大切にするコミュニケーション」7月3日
- ・やまぐち総合教育支援センター「不登校の子どもや保護者とのコミュニケーションについて考えるーアサーション・トレーニングを活用してー」7月6日
- ・水巻町「いきいきはつらつ塾公開講座 子どもの「やる気を引き出す」大人の接し方」7月17日
- ・平成21年度教職免許状更新講習会 「『子どもの心』をはぐくむための関わり方」9月5日
- ・平成21年度人権相談従事職員研修カリキュラム「面接技法講座 人権相談Ⅲ(対人援助の技法)」9月7日、11月10日
- ・中間高等学校 出前講座「自分も相手も大切にするコミュニケーション」9月30日
- ・平成21年度福岡県立福祉用具研究会「アサーションとカウンセリングの基本」10月16日

- ・九州地連第7 回のちと健康を守る交流会「ストレスとそのつきあい方～メンタルヘルス～」11月29日
- ・北九州LD親の会「すばる」全体会 の学習会「親と子の上手なコミュニケーションの方法について」2月28日

9. 附属研究所の活動等

<生涯福祉研究センター>

兼任研究員

- ・お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）の企画と運営
- ・特別支援教育を行うためのスキルアップ・プログラムの企画と運営